



Sapporo Gakuin University

学園広報

2009.2.20 No.102

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111
http://www.sgu.ac.jp

人文学部三十年のあゆみ —さらに魅力ある学部をめざして—

人文学部は、人間尊重のヒューマニズム的精神を涵養し、人間とその生活に関する個別科学の学習成果のうえに立ちながらも、人間に関する生きた総合的な知見を育成することによって、地域と国際社会の文化と福利の向上発展に貢献しつる人材の育成をめざすことを目的としています。



人文学部長 奥谷 浩一
一年間、有為な人材を送り出してきま

人文学部は三十一年間、有為な人材を送り出してきま



十一月八日、人文学部創立三十周年記念講演とシンポジウムが本学SGUホール(G館一階)で開催されました。

安岡馨札幌学院大学教授は、家族の役割を再認識することで、家族関係の希薄化の進行を食い止める可能性が生まれてくると述べ、人間の再生とは、矛盾した存在を素直に引き受けるとい

英語英米文学科は海外半期留学制度の拡充、臨床心理学科は精神保健福祉士資格取得者の増加、こども発達学も二〇一〇年度小学校教員採用の実績を出すことをめざして奮闘中です。

本学人文学部は創立三十周年を迎えました。一九七七年に北海道最初の人文学部として発足した時は、札幌商科大学(当時)の二つの学部として、人間心理学科定員百名と英語英米文学科同五十名の二学科で出発しました。二〇〇〇年には大学院臨床心理学研究科、その翌年に臨床心理学科定員九十名、二〇〇六年にこども発達学定員五十名を増設しました。その結果、現在の人文学部は四学科学生定員三四〇名という本学最大の学部となり、現在に至っています。

十一月八日、人文学部創立三十周年記念講演とシンポジウムが本学SGUホール(G館一階)で開催されました。まず、東京農業大学石弘之教授が「地球と人類の未来」と題し、新型インフルエンザと食料危機について言及され、「今の地球の危機を正しく知り、この現実を変えていくのが環境活動であり、私たちの責任です」と述べ、私たちが責任を

一義経済学部准教授から「日本の格差社会・貧困問題の論点」社会政策研究の立場から、井上芳保社会情報学部教授から「貧困の語られ方とその効果」、清水雅彦法学部教授から「新自由主義改革・貧困問題を憲法からどう考えるか」という三つの報告がなされ、活発な討論が行われました。本学の理念の一つは「人権」です。人文・社会科学系総合大学の研究所としてふさわしい出発点になったと考えています。

大学での講義を特徴づけるのは、講義内容が個々の教員の研究成果に基づいているという点です。また大学の社会的使命は、教育に加えて、研究成果を社会に還元し、地域社会に貢献することです。研究に裏付けられた教育、研究成果に基づいた社会貢献、このふたつが大学の大学たるゆえんである。とすれば、研究活動は大学のエンジンのようなものです。本学では、百二十余名の研究がそれぞれの専門分野で研究活動を行っていま



日本社会の今とこれからを考える

1月24日 総合研究所発足記念講演会・シンポジウム

えやすく発信するために、二〇〇八年度に札幌学院大学総合研究所が設立されました。研究活動支援に加えて、より重点的・戦略的な共同研究会の開催、ブックレットの発行などを行っていく予定です。こうした活動の手段に、一月二十四日、本学において「今日の日と日本社会と」と題したシンポジウムでは、片山

人権をメインテーマとする研究所発足記念講演会・シンポジウムを行いました。伊藤雅彦法学部教授による「世界人権宣言の六十年と日本国憲法」、水島宏明日本テレビ解説委員による「民主主義とメディアの役割」「ネットカフェ難民」取材の現場からというふたつの講演と、それを受けたシンポジウム「今日の日と日本社会と人権」反貧困戦略と社会科学系研究所としてふさわしい出発点になったと

札幌学院大学800字のコンテスト 第3回高校生エッセイフォーラム 「わたしの大切なもの」入賞作品決定

入賞作品一覧	
◆最優秀賞 (1点) 「素敵です 農業」	近藤 友美さん (北海道森高等学校3年)
◆審査員特別賞 (2点) 〈はた万次郎賞〉 「番書」	市前 彩野さん (青森県立青森高等学校1年)
〈小野寺歩賞〉 「すずりと歩いた10年」	菊池 健人さん (北海道大樹高等学校3年)
◆優秀賞 (5点) 「白と黒の旋律」	與安 亜美さん (北海道稚内高等学校3年)
「道」	村田 郁美さん (北海道羽幌高等学校3年)
「わが家のムードメーカー」	小泉 光可さん (函館白百合学園高等学校1年)
「私の生き方」	菅原智奈美さん (岩手県立久慈高等学校2年)
「声を感じる」	高橋 郁美さん (宮城県岩出山高等学校3年)
◆佳作 (4点) 「自然と共生する」	笛田満里奈さん (鹿児島県立鶴丸高等学校3年)
「赤い秒針」	イエリン彩文さん (加藤学園暁秀高等学校2年)
「捨てられなかったもの」	道中 康太さん (北海道羽幌高等学校2年)
「私の誓い」	鬼頭 佑輔さん (日本航空大学校 日本航空第二高等学校3年)
◆学校特別賞 (5校)	北海道札幌稲北高等学校 富山県立高岡工芸高等学校 福岡県立修猷館高等学校 福岡県立筑紫丘高等学校 大分県立東明高等学校

札幌学院大学 800字のコンテスト 高校生エッセイフォーラム授賞式

小野寺歩さん(右)から賞状を受け取る菊池健人さん

「わたしの大切なもの」というテーマで公募した「第3回高校生エッセイフォーラム」は、全国から三、一八通の応募があり、八作品が入賞、四作品が佳作に選ばれました。十二月二十

人なり」といいます。自分の書いたものが人の心をうつというの人間にとって最高のコミュニケーション。これからもみなさんの人生を豊かに彩ってくださることと、祝辞を贈りま

六日には入賞した八名をお招きして本学で授賞式が行われ(うち二名は残念ながら欠席)、同行した家族や審査員とともに喜びを分かち合いました。和やかな雰囲気でした。ウーロン茶でカンパニー。別際にはメールアドレスを交換する姿も見られ、その頃には朝から吹き荒れていた雪も止んで、やわらかな日差しの中でみなさんを見送ることができました。は感嘆しきりでした。



雪かきパワーで1部リーグ上位を狙え!

「皆さんに喜んでもらえて僕たちもとてもうれしいです。来年もまた夕張に帰ってきます」と、今回の企画の中心になった菅原勇輔さん(経済学部3年)。昨年ひき続き、アメリカンフットボール部が2月5日、夕張市南部コミュニティセンターやひとり暮らしのお年寄り宅周辺を雪かき。地域の方々が準備してくれた豚汁とごはんのもてなしと、楽しい語りいで身も心も暖かに。



「大学紹介パンフレット」が完成

大学院と学部の紹介を中心にコンパクトなA5サイズにまとめました。一目ではどこなのか見当がつかないアングルの写真もたくさん。この冊子を片手に学内を散策してみてもいいのでは? ご希望の方は大学広報課まで。

異文化に触れる、視野が広がる

札幌学院大学には、さまざまな形で異文化に触れる機会が用意されています。今回は、韓国からの留学生が市民の皆さんと交流した様子を紹介いたします。



参加者の皆さんとサケの遡上を観察中

札幌学院大学には、さまざまな形で異文化に触れる機会が用意されています。今回は、韓国からの留学生が市民の皆さんと交流した様子を紹介いたします。

現在、本学は韓国の東國大(釜山)と国際学術交流協定を締結しており、その交流活動の一環として交換留学生制度を実施しています。

二〇〇八年度は東國大から、張僑羅さん、林愨語さん、東亞大からは、方美英さん、丁熙領さん、金笑美さんを迎えました。

韓国からの留学生 日帰りバス旅行で市民と交流

- ◎東國大 張僑羅さん、林愨語さん
◎東亞大 方美英さん、丁熙領さん、金笑美さん



初めて見たサケの遡上

秋の紅葉の下、お昼はにぎりやそばを食べて交流し、楽しく過ごしました。

サケの遡上を初めて観察 十月二十五日、留学生五名が、本学コミュニティ・カレッジ「バスで行く」から自然観察会と温泉の旅

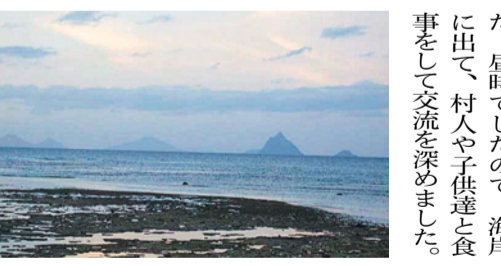
温泉が有名な国で 帰路の白老町虎杖浜の温泉では日本の温泉を初体験しました。

海外通信 バヌアツ共和国見聞記 第6報 「世界一幸せな国」〈最終回〉



札幌学院大学 客員教授 川口 孝太郎

最終報の第六報は、「バヌアツには、まだまだ人の目に触れていない南海の楽園が残っていることを報告し、南太平洋への夢をかきたてて欲しいと思います。」



配です。私は山育ちで、海なごっていたのです。一九九〇年の地図では、海で隔てられていたはずだったのに、残念!

第一報から最終報まで読んでいただき有難うございます。北海道は今、冬の厳しい季節。ここバヌアツは常夏の国です。

二〇〇九年度前期講座の案内・募集開始は三月中旬です。本学ウェブサイトやパンフレット等で最新情報をご覧ください。

Seminar @SGU vol.3 人文学部こども発達学科 小林好和ゼミナール(発達心理学)



「これは、わたしが小さいときに、村の茂平というおじいさんから聞いたお話です」と書き出して始まる切な悲しい物語「ごんぎつね」(新美南吉著)。

受賞タイトルは「自動採点システムを用いたコンピュータリテラシー教育の質保証」。



さらにこれらの高校からこのツールを利用する大学へ入学した場合は、教育内容のほらつきを解消できることから、情報教育の質も保証されることになりました。

10周年を迎える コミュニティ・カレッジ (生涯学習・市民講座)

SGUフォーラム

盛況のうちに終わる
実行委員長 家田 愛子 (法学部教授)

二〇〇八年の公演でSGUフォーラムは十回を数える。十二月二十五日、フィンランドからカンテレ奏者のエヴァ・アルクラさんを招いた。共演は二十五弦琴の中井智弥さん。
教員の自主組織として立ち上げたSGUフォーラムの運営は、第一回(一九九九年)から第三回までは手弁当で、フォーラムの実行委員が自腹を切つて経費をまかされた。第四回以降は金学運営費からの補助があったが、入場料に実行委員と有志のカンパを足して、ぎりぎりの予算で運営している。このころから実行委員長になり、入場料収入が少なくないと赤字になり、継続が

第1回	札幌学院大学文化芸術の夕べ	田中彰+北大合唱団(ゴスペル)	1999年
第2回	札幌学院大学文化芸術の夕べ	勝井義雄+テラ弦楽四重奏団	2000年5月
第3回	澤地久枝講演会	澤地久枝+山崎哲永(ソプラノ)	2000年10月
第4回	ポルトガルギターとマンドリンの集い	マリオネット	2001年
第5回	アメリカはなぜこんなに戦争をするのですか?	ダグラス・ラミス+札幌管団員三重奏	2003年
第6回	中南米の人々の暮らし、していますか?	高懸雄治+ヤヒロ・トモヒロ他(ラテンジャズ)	2004年
第7回	韓流クリスマスコンサート	札幌交響楽団による室内楽	2005年
第8回	伝統と革新の津軽三味線の夕べ	上妻宏光(三味線)	2006年
第9回	ことば変わればうた変わる	一徹久美子(ソプラノ)+石橋克史(ピアノ)	2007年
第10回	カンテレと琴の午後—フィンランドと和の融合	エヴァ・アルクラ、中井智弥	2008年

SGUフォーラムこれまでのあゆみ
井和弘准教授のゼミに所属し、マーケティングの基礎などを学んでいきます。北海道に來てあらためて気づいたふるさと沖縄の魅力、一人でも多くの人に知ってもらえればこのポスター展を企画しました。
二〇〇八年四月から一年間の予定で本学商学部留学中の新里さんは、井和弘准教授のゼミに所属し、マーケティングの基礎などを学んでいきます。北海道に來てあらためて気づいたふるさと沖縄の魅力、一人でも多くの人に知ってもらえればこのポスター展を企画しました。

沖繩からの留学生が「沖繩ポスター展」開催
本学が単位互換協定を結んでいる沖繩国際大学の産業界情報学専攻科から、本学商学部二年に国内留学している新里真奈美さんが「沖繩ポスター展」を開催しました(十一月十八日、G館 階ホウ)。
二〇〇八年四月から一年間の予定で本学商学部留学中の新里さんは、井和弘准教授のゼミに所属し、マーケティングの基礎などを学んでいきます。北海道に來てあらためて気づいたふるさと沖縄の魅力、一人でも多くの人に知ってもらえればこのポスター展を企画しました。

秋の食生活改善運動「朝食を食べよう」
江別市四大学二短大(札幌学院大、北翔大、同短大、北海道情報大、酪農学園大、同短大)の共同企画として、秋の食生活改善運動が十月二十八日から三十一日の四日間実施されました。これは、朝食を一〇〇円程度で提供し、学生に朝食の大切さや地産地消の重要性を理解してもらう機会にしよう、と、春に引き続き行われたものです。JA北海道中央会やJA道東から、お米や馬鈴薯、玉葱などの道産食材をご提供いただき、栄養もボリュームも満点の朝食が振舞われました。

十一月十五日に札幌東商業高等学校国際経済科の生徒さん七名が引率の先生とともに本学を訪れ、G館八階で「英語キャンプ」を体験しました。
この企画は、大学と高校の両教育機関が連携して、専門的かつ発展的な知識を提供し、生徒の知的好奇心を高めることで学習に対する意欲と目的意識の向上を図ろうと実施したもので、生徒の皆さんは、午前十時から約五時間にわたって日本語を一切使わないという、普段の生活ではめったに経験することのない「英語漬け」に挑戦しました。
はじめは、少し緊張ぎみだった生徒さん達も、グロウズ先生の柔和な表情と陽気な「stand up」の掛け声で一気に緊張もどけ、途中の食事やゲームにもすべて英語でチャレンジしながら、終始笑いの絶えないキャンプになりました。

札幌東商業高等学校生が英語キャンプ体験
帰りに感想をうかがったところ、「楽しかった」「また参加したい」といった声がかかれ、大学としても「実施して良かった」と嬉しく思う瞬間でした。
本学と札幌東商業高等学校とは、二〇〇九年度から相互の課程における学修効果の向上を期して、教育機能の連携を図るため、「高連携」の協定を締結する予定です。

課外活動
私たちがパワーリフトに週に約一回のペースで練習しています。そもそもパワーリフトとは、ベンチプレス、スクワット、デッドリフトの三種目の合計最大重量を競う競技です。世界大会も行われており、日本人の三士手大介という選手が世界王者になりました。日本が世界と肩を並べられるスポーツの一つであるとも言えます。最近では、健康増進のために中年の男性、女性のリフトも増加してきました。私たちの部活には指導員がいま

パワーリフト部
私たちがパワーリフトに週に約一回のペースで練習しています。そもそもパワーリフトとは、ベンチプレス、スクワット、デッドリフトの三種目の合計最大重量を競う競技です。世界大会も行われており、日本人の三士手大介という選手が世界王者になりました。日本が世界と肩を並べられるスポーツの一つであるとも言えます。最近では、健康増進のために中年の男性、女性のリフトも増加してきました。私たちの部活には指導員がいま

卒業生この人一 裁判員制度への理解を「司法を考える市民の会」

代表 上仙 純也さん (1994年法学部法律学科卒業) 若見沢市総務部市民活動課 市民相談担当



現在の仕事について教えてください。
市民の皆さんからの相談意見、要望、苦情受付をはじめ、相続・離婚等の家族問題、近所のトラブル、債務整理等の民事相談にいたるまで、ありとあらゆる相談を聴く仕事をしています。
以下、市民の会 ほどのような団体はありますか。
月に一度例会を開催し、裁判員制度に関するもの他、刑事裁判や昨今の司法

一助となればという気持ちでの参加でしたが、徐々にならぬうちに、入会からおおよそ二年後には代表に就任しました。
私を含め若い会員は少ないのですが、若い方に関心を持ってもらうよう、今後も様々な行事を企画して行きたいと思っています。
大学を卒業して十五年近くが過ぎましたが、今ほど、大学時代に得た知識が役に立っている時はありません。知識を蓄える期間として、また長いお付き合いの出来る友達を見つける期間として、充実した学生生活を過ごして欲しいと思います。
五月から裁判員制度が始まる予定です。様々な問題を抱えているスタートでも司法の民主化の第一歩だと思います。人を裁くというのは非常に難しいことですが、裁判員候補者に選ばれたら、特に学生の場合は、裁判官に若者ならではの感覚をぶつけるんだという気概を持ち、ぜひ裁判員を務めて欲しいと思います。

専門ゼミ登録システム、成功裏に運用完了！
社会情報学部教授 森田 彦
社会情報学部では、三年次に関する専門ゼミナーの配属を決めるための希望調査を、二年次の後期に行います。これまでは、まず予備調査を行って各ゼミの暫定的な希望者数を公表し、それを参考に、本調査用紙を提出して配属が決まるというシステムをとっていましたが、サイドからは、二回の調査用紙提出の不便さと、中間に公表される予備調査結果だけの情報でゼミ選択を判断することへの不満がありました。また担当の教務課としては、二回の集計作業

とが可能になりました。幸い、調査期間中はほとんどトラブルなく成功裏に運用を終了することができました。森田ゼミでは、役に立つソフトウェアの制作をテーマにこれまで様々なソフトウェアの制作に取り組んできましたが、このように実際の業務に運用できるのが本学が初めてです。現在は、運用中にもかかわらず、不備な点を改善しつつ、他学科でも活用できる汎用性を目指してシステムの改良を進めています。森田ゼミでは、櫻田君のシステム作成に刺激を受けて、後輩ゼミ生達も、第二弾、三弾の「役に立つ」システムの完成を目指して、日夜開発に取り組んでいるところです。

総合芸術研究会写真部 部員一同
私たちが総合芸術研究会写真部は、現在約三十名で活動しています。近年デジタルカメラが一般的となっていて、写真部ではフィルムカメラで撮影し、自分たちでモノクロ写真を現像しています。暗室で写真を現像することは、時間が掛かります。これからの新しい目標に向けて部員一同頑張っています。

総合芸術研究会写真部 部員一同
私たちが総合芸術研究会写真部は、現在約三十名で活動しています。近年デジタルカメラが一般的となっていて、写真部ではフィルムカメラで撮影し、自分たちでモノクロ写真を現像しています。暗室で写真を現像することは、時間が掛かります。これからの新しい目標に向けて部員一同頑張っています。



2008年6月には大学法学部との共催で模擬裁判を開催しました

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

市民の会で活動するようになったきっかけを教えてください。
札幌弁護士会が、二年に一度募集する市民モニターに応募し、活動していた時、モニターOBとの交流の機会があり、その中のOBの一人で市民の会の会員の方に入会を勧められました。最初は現在の仕事への知識の

